

地域連携センター Newsletter

大学の法人化と群馬県看護協会からの期待

公益社団法人 群馬県看護協会 会長 小川 恵子
(群馬県公立大学法人 経営審議会委員)

平成30年4月1日から公立大学法人化がスタートいたしました。公立大学法人化に向けて、熱い思いで取り組んでいただきました高田学長様をはじめ教職員の皆様に感謝と敬意を申し上げます。全国の公立大学92大学の内、すでに81大学が法人化となっており、群馬県立の2大学が漸く、他の公立大学と同じ土俵での魅力ある大学運営が行われることとなりました。

現在、県民健康科学大学が深く関係している医療・介護の分野では、少子超高齢社会と人口減少の急激な進展に直面し、国では、持続可能な社会保障制度の確立を図るため改革が進んでおり、各自治体では、地域包括ケアシステム構築推進の取り組みと具体的な事業を展開しております。

こうした中で、県民健康科学大学は、群馬県で活躍する優秀な学生を確保するとともに、世界にも通用する人材の育成が着実に進められています。今後、県民の多様化する保健医療ニーズに適確に対応できる人材を育成するには、現在の大学教育に加えて、地域包括ケアシステム構築の推進役になれるリーダーの養成といった視点が欠かせないと考えております。地域貢献として、地域連携センターで取り組まれている看護学教員養成課程、出前なんでも講座、看護職研究支援事業は大変好評を得ておりますので、是非、継続実施していただきたいと思っております。また、昨年度からの健康寿命延伸の県民公開講座は、増大しつづける医療費、介護保険料の削減にもなります。健康寿命延伸の秘訣を伝授することは、人生の生きがいや楽しみ、社会参加にもつながり県民が元気になり、大いに期待できる事業であると思っております。法人化を機に県立大学だからこそ取り組める事業に一層チャレンジして欲しいと願っております。

例えば、平成27年10月から特定行為に係る研修制度が法制化されました。県民が安心して住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられるために、生活者の健康支援と共に医療を受けながら病気と共に生活する人々の「治し支える医療」の高度で専門的技術を備えた人材を育てる指定教育機関として取り組んでいただけたらと願っているところです。県民健康科学大学の基は、昭和27年から地域保健、公衆衛生の向上に貢献する保健医療人の育成をしてきた伝統と歴史があります。地域全体を見渡せて健康な群馬県民の生きる力を支える人材育成に本学の大学の知を今後も十分に生かして頂きたいと思っております。

結びになりますが、公立大学法人群馬県立県民健康科学大学の更なる発展と教職員の皆さまのご活躍を心よりご祈念申し上げます。



【学術賞を受賞して】

診療放射線学部 教授 小倉敏裕



今年も2万人以上の放射線医療関係者が横浜のパシフィコ横浜に集まりました。本年4月に開催されました日本放射線技術学会第74回総会学術大会で、CTコロノグラフィの分野における研究業績が顕著で、筆頭原著論文7編が出されているということで学術賞をいただきました。CT内視鏡は30年ほど前、始めたことですが、当時誰からも相手にされませんでした。並行してデジタル透視撮影装置の開発に携わり、1号機を世の中に出すことに忙しかついていた時、大腸CT内視鏡が4年3月にハワイで発表されました。大急ぎで4月に演題応募し採択され、同年11月シカゴの北米放射線学会へ発表しに行った思い出が

あります。研究を始めてから診療報酬が通るまで25年以上かかっていますので、やはり、20年30年先を見て、研究を始める必要があります。現在もアイデア勝負の変わった研究ばかり行っていますが、これからもご支援の程よろしく願いいたします。

【診療放射線学部の学生および大学院生ら5人がヨーロッパ放射線学会で発表】

診療放射線学部4年 山之内佐久也

今回は私にとって2回目の参加でした。1回目は大学1年生の春休み、海外での学会に興味があり参加しました。見るもの聞くもの全てに圧倒され、自分の視野が広がりました。そして2度目の参加となった今回、私は 'Utilization of Electroencephalogram Signals and Gaze Points for Manipulation of Angiographic Image Display in Operating Rooms' というタイトルで発表しました。自分の発表なのだと思うと学会場に入った瞬間から緊張し身が引き締まる思いがしました。学生の早いうちから国際学会に参加するという貴重な経験は、私にとってとても良い経験になりました。学んだことを生かし、さらに勉学や研究等に取り組んでいきたいと思えます。



診療放射線学研究科 佐藤 充

今回は「Development of a new image display system for angiography based on detection of electroencephalogram signals from operator's brain」というタイトルで口述発表を行って参りました。博士後期課程と就職を同時に行った私にとって、その中での海外発表は一つの目標でした。日中は仕事に追われつつも研究を行ってきた努力が報われました。まさしく、今回ECRIに参加するということはこの両立をすることが出来たという証になったのではないかと思います。



お知らせ

オープンキャンパスを開催します！

県民健康科学大学では、高校生、受験生とご家族の皆さまを主な対象として、オープンキャンパスを開催します。教育・カリキュラムや入試に関する案内に加え、模擬授業・模擬演習の実施や在校生・教員による相談コーナーもあります。

「ぐんまちゃん」と「ころとん」が遊びに来る予定です。是非皆さまの参加をお待ちしています。

【日 時】 平成30年8月10日（金）・11日（祝土）

【場所】 県民健康科学大学

※詳細は、本学ホームページでお知らせします。

